

ALPHA

PAL14 Installation Guide

Jan,2009

X001ZF0X-A

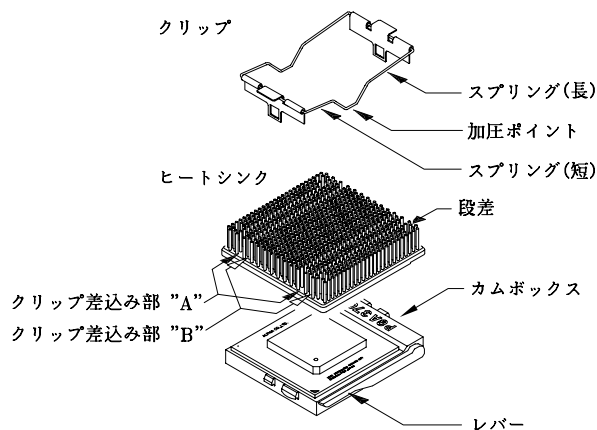
梱包の中に次の物が同梱されているか、ご確認ください。

部 品	数 量	モ デ ル	
		PAL 14T	PAL14U-M63
ヒートシンク	1	○	○
クリップ CL57L1	1	○	○
ネジ、ワッシャー (ファン取付用)	4	○	○
ファン (60mm角ファン)	1		○
サーマルグリス YG6260-5	1		○

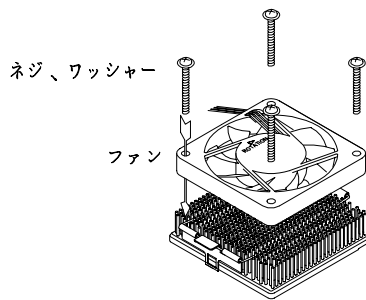
STEP 1 ヒートシンクユニット組立て前に他部品やソケットのレバー等との干渉が無いか確認してください。ヒートシンク裏面の段差がソケットのカムボックス側になります。クリップはソケットに対し必ず右図に示す方向に組み込んで下さい。

クリップは非対称で、加圧ポイントが中心からずれています。加圧ポイントはCPUコアの上になければなりません。クリップのスプリングの長い方がカムボックス側になる様に組付けます。

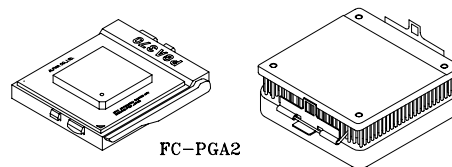
ヒートシンクにはクリップを差込む部分が2箇所あります。ヒートシンクの中心に対してクリップが各々片側に約3mmオフセットして取付ける位置にあります。一般的にはクリップ差込み部 "A" を使用しますが、ソケットのレバー側に干渉するコンポーネントがある場合、"B" の方にクリップを組み付けて下さい。



STEP 2 ヒートシンクにクリップを差し込みます。次にファンを載せ、ネジをヒートシンクのベース面迄通して組付けて下さい。



STEP 3 ヒートシンクとCPUの接触面 おおのにサーマルグリスを薄く均一に塗布して下さい。サーマルグリスの量が多いと性能低下につながりますので注意して下さい。ボードへのダメージを避ける為、過度に荷重をかけないでください。過度の荷重は設置ミスの原因にもなります。クリップはソケットタブの正しい位置に引っ掛けてください。



STEP 4 電源を入れる前に、ヒートシンクがCPUと傾くことなく設置されているか（ソケットのカムボックスやレバー及び他のコンポーネント等に接触せず、CPUだけに正しく接触していることを）目視で確認して下さい。

information subject to change without notice.